



チューリップ ユリ科 開花期 3~5月



週報
通算 1951回
36号

例会日：水曜日
第1・第2 夜間・18:30~
第3・第4・第5 昼間・12:30~
例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：辻本圭三 幹事：土屋一博
クラブ会報委員長：籠田 弘 副委員長：和田 薫

本日の例会
4月20日(水)
12:00~

ロータリークラブ： それでこそロータリー
行事：例会 レストラン サンクシェール
見学「震災に備えての防災
和歌山市消防局見学」

次回の例会
4月27日(水)
12:30~華月殿

行事：クラブフォーラム
社会奉仕委員会

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 鯨 拓也

会長挨拶

辻本圭三 会長



- 恒例に従い、RI テーマの唱和をお願い致します。「地域を育み、大陸をつなぐ」
- 本日の会長報告はお休みとさせていただきます。

幹事報告

土屋一博 幹事



- 識字率向上運動協賛として、前日に引き続き 書損じハガキを77枚地区に送りました。有難うございました。
- 4月20日(水)の例会変更。グイロネットホテル3階 サンクシェールにて12:00より行います。その後、和歌山市消防局へ移動、13:00より見学となっております。
- 次週の理事会は4月27日(水)にさせていただきます。
- 4月27日(水)の例会は、クラブフォーラム 社会奉仕委員会です。「訓練用の消火器の実演」を行います。山口委員長より多数の出席を希望されていますので、お知らせさせていただきます。
- 早田さん(元会員)より、単一乾電池(お家でねむっている)があれば、一つからでも結構ですので、お知らせくださいと私に連絡がありました。東北地方の被災地に持って行かれるそうなので、ありましたら、私か事務局までご一報ください。

第4回IDMのテーマに関して



ロータリー情報規定委員会
委員長 駒阪 純章

去る3月11日午後2時46分、東北地方において巨大地震が発生しそれと同時に大津波が起こり沢山の犠牲者が出ました。私達が住んでいる関西地方にも、前々から言われている様に南海・東南海・東海地震が、此処30年間の間に60%の確率で来ると言われております。そこで今回のテーマは【南海・東南海・東海地震に備えて】にさせていただきますので各班のリーダー・サブリーダーの皆様、宜しくお願いします。発表は5月18日(水)の例会日となっております。

ニコニコ箱

和田 達男 会計

辻本君・紀三井寺に植樹した しだれ桜 花をつけていました。有本君・本日、卓話させていただきます。溝落君・ロータリーの友情に感謝して。山田(さ)君・辻本会長、先日はありがとうございました。有志一同・残金です。ご本人お誕生日お祝い・釜中君。配偶者お誕生日お祝い・堀君(無事 退院できました)、島本君。ご結婚記念日お祝い・釜中君。

ロータリー財団

和田達男会計

辻本君・本日の会長報告は手抜きさせていただきます。



東南育英会

和田達男会計

稲葉君・早退いたします。悪しからず。

東日本大震災義援金

和田達男会計

和田(薫)君・KGK ゴルフコンペにおいて、優勝させていただきました。有志より。

出席報告

出席者 出席率

会員総数	49名	4/13	35名	72.92%
出席免除会員	3名	3/30	40名	81.63%

ニコニコ 米山奨学金 ロータリー財団 東南育英会 40周年記念BOX 東日本大震災義援金BOX

累計 1,517,640 215,000 367,000 71,000 825,400 70,805

「登山について」有本隆行会員（日本山岳会会員）



みなさん今晚は、ハイキング同好会の有本です。『富士山へ登山に行こう』と声をかけてから、登山についての問い合わせがありますので今日は『登山』についてお話しさせていただきます。私が登山を始めたのは、若かりし二十歳の頃でした。その頃は、若い者が登山ブームで大学には必ず山岳部があり、社会人を中心にした山岳会が全国にありました。山での遭難も多く前途有為な若者が毎年何人も亡くなりました。前途有為でなかった私は生き残って、ここに老残をさらしているのですが。

さて、日本は先端技術の科学立国であります、世界有数の山林国でもあります。古くから山と共に生きてきました。山の頂上近くまで開墾し、山菜や木の実取りに山に入って生活の糧にするのは今でも行われています。

山は信仰の対象でもあり、富士山を始めちょっとした山はご神体となっています。近くでは大峰山が有名ですが、有名無名にかかわらず、ちょっとした山の頂上には祠があって鳥居を潜るようになっていたりして「神の宿る場所」と感じさせられます。

大戦後世界的な登山ブームとなり、エベレストをはじめ数々の八千m級の山が征服されました。その内の一つマナスルが日本隊によって初登頂されました。

山の登り方は山の形によって違うのですが、日本アルプスの様に沢山の山が連なっている場合、一つのピークへ登ってそのまま尾根伝いに頂上から頂上へ山旅を続けるのを、縦走と言います。富士山の様に単独の山ですとただ登って同じ道を下りるか、頂上を超えて別の道を下りるかです。沢登りとか岩場を登るロッククライミング等もあります。パーティーにもよりますがふつうは40分か50分歩いて5~10分の休憩をします。このくり返しで登ってゆきます。早さは「最も弱い者に合わせる」のが原則です。ウォーキングのように大股でなくて小股でゆっくり歩きます。腕を振ったりもしません。体力に差が出来てチームを二つとか三つに分けて、夕闇が迫ってきたとすると経験不足で弱い組は遭難する可能性が多くなります。遭難はほとんどの場合下山時に起こります。本場のアルプスやヒマラヤでも同じです。登る事に体力を使ってしまうこととか、少し油断するからかも知れません。事故を起こさない為には「登山とは、山と天候と、自分の体力と技術を考えたゲームである」と氷壁を書いた井上靖さんが言っていることを忘れないことと思います。山へ一歩踏み込んだら、自分の足と体力だけが頼りの世界になります。お金がいくらあっても役に立たないと昔はよく言ったものですが、今は携帯なんて便利な物があつたりして遭難しそうになったら119番にかけたり、それこそヘリコプターを呼んだり出来る時代ですから、大いにお金は役に立つようです。

私はどんなに簡単な登山であっても、いつも持ってゆくものがあります。この袋に入っているのはマッチ、又はライター、呼子、簡易寝袋、少し大型ナイフ、磁石、袋に入りきれない物は雨具、非常食、飲み物、ラジオ、ヘッドライトなどです。これらは今回の大震災等で建物の中に閉じ込められたときも役に立つ物ばかりです。

昼の弁当は必ず残します。例えばおにぎりが三個あると、二個だけ食べて一個は残します。飲み物も全部飲んでしまいませぬ。これだけの物があれば、2~3日はがんばれますから、途中で天候が悪くなって暗くなってきても慌てませんから事故に繋がりにくいのです。

さて、今日の本題である富士山には代表的な登山道が三つあります。一番古いのは吉田口、御殿場口、富士宮口(表口登山道)とありますが、関西からは一番取り付きやすいので富士宮口を登ることになります。新幹線の新富士駅から富士宮新五合目へバスが出ているのですが、時間を稼ぐためタクシーで行きます。新五合目にはレストラン、売店があります。ここで水等を買って登ってゆきます。

ちなみに和歌山を8時44分発のスーパー黒潮で発ちますと新富士へ12時30分に着き。タクシーで30~40分ぐらいで新五合目、ここから歩いて2時間半~3時間ぐらいで8合目に着き宿泊、翌日早朝3時から4時に出発して1時間半~2時間で頂上です。

このように富士山は、天候に恵まれて体力があれば非常に簡単に登る事が出来ます。

最後に登山の効用について朝日新聞に出ていた登山医学会理事の山本正嘉さんによると『ウォーキングは一生懸命やっても町中では一時間ぐらいが限度。登山は長時間で、荷物を背負って坂道を上り下りするので、心肺機能が向上し、脚力もつく』と言っています。

確かにハイキング等の後は非常に体調が良くなるのを実感出来ます。一緒にハイキング出来る方がありましたら声をおかけください。

RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）終了証授与。

ロータリー青少年指導者養成プログラムのカリキュラムを修了したことをここに証します。

竹中会員事業所の職員 6名

土屋会員ご家族他 3名

松浦会員ご家族他 2名

